小学校第４学年　理科　学習指導案

名古屋市情報教育研究会

１　単元　　わたしたちの体と運動

２　指導計画（９時間完了）

(1) うでのほねのつくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１時間
(2) うでが動くしくみ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１時間
(3) 体全体のほねときん肉・・・・・・・・・・・・・・・・・６時間（本時６／６）
(4) たしかめよう・学んだことを生かそう・・・・・・・・・・１時間

３　本時の指導

(1) 目標

自分がまとめた気付きや考えを他者と比較し、共通点や相違点を見付けることで、全身の骨や筋肉のつくりについての学びを深める。

(2) 情報活用能力の育成について

学習支援ソフトウェアを活用して、自分がまとめた気付きや考えを他者と比較し、共通点や相違点を見付けることで、学びを深めることができるようにする。

(3) 準備

ノート型PC、前時までにまとめた資料

(4) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点
５分	１　本時の流れとめあてを知る。	○　自分が調べた体の部位と他者が調べた体の部位を比較し、気付いたことを伝え合う授業であることを伝える。
	自分と友達が調べた部分を比べて、気付いたことを伝え合おう	
30分	*２　学習支援ソフトウェアを活用し、友達のまとめた資料を見て、気付いたことをその資料に書き込む。*	*○　グループでの閲覧を効率的に進めるために、調べた部位に重複のない５人組で行う。* *○　他の部位を調べた児童の資料を閲覧して気付いたことをその資料に書き込ませる。* *○　互いに自分の資料に書き込まれたことを確認して、書き込んだ相手の資料との共通点や相違点を確認するようにさせる。*
	評価事項 自分がまとめた気付きや考えを他者と比較し、共通点や相違点を見付けることで、学びを深めることができる。　【資料への書き込み内容】 □…　同じ名前の骨を探させたり、特定の部位を比較させたりするように声を掛け、着眼点を明確にさせることで、共通点や相違点に気付きやすくさせる。 ☆…　筋肉と骨のつながりに着目させ、それぞれが動く仕組みを考えさせる。	
10分	３　新しく気付いたことを自分の資料に書き込む。	○　よい考えは他の児童にも紹介し、全体で共有するようにさせる。

※斜体…情報活用能力を育成する学習活動